

## 6次産業化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本雅和			
事業主体	県、市町、農林漁業者等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始 年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	国 定額・1/2・1/3、県 1/2・1/3													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画、第3次ふくいの食育・地産地消推進計画 ]							
[解決すべき問題・課題]														
<p>県産農林水物を使用した新たな6次化商品の販売額は着実に増加している（H26:118百万円→R1:350百万円）が、今後は健康志向の高まりや高齢化社会、新型コロナ拡大に伴う新生活様式などに対応した商品開発・販売を行っていくことが必要である。</p>														
[事業目的]														
6次産業化に取り組む農林漁業者等と商工業者、関係機関等が連携して行う機能性表示食品、介護食品等の新しい分野での商品開発・販路開拓を支援する。														
[事業内容]														
<p>1 県内の6次産業化推進体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福井県6次産業化推進会議の開催</li> <li>○市町6次産業化推進会議等の開催 (実施主体：市町 補助率 定額)</li> <li>○6次産業化サポートセンターを設置しプランナーを派遣</li> </ul> <p>2 新たな需要に対応した新商品の開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○機能性表示食品、スマイルケア食の開発支援</li> <li>○一次加工品開発の推進</li> <li>○新たな需要等に対応した商品開発支援 (実施主体：農林漁業者等 補助率 1/2・1/3)</li> <li>○地域食材供給施設(直売施設等)整備の支援 (実施主体：市町および農林漁業者等 補助率 1/2)</li> <li>○加工用機械・施設整備の支援 (実施主体：農林漁業者等 補助率 1/3)</li> </ul> <p>3 県内・県外への販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都市圏でのマーケティング・販売促進支援 (実施主体：農林漁業者等 補助率 1/2)</li> </ul>														
[受益者] 6次産業に取り組む農林漁業者						[想定される受益者数] 150事業者								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	・少額の事業については市町単独事業で対応。また、ハード整備事業は県と共動で対応するため、市町への間接補助で実施					他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新潟県                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発・販路開拓、施設・設備整備を支援</li> <li>・6次産業化はじめる・ひろげる総合支援事業 等</li> </ul> </li> <li>○富山県                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発・販路開拓、施設・設備整備を支援</li> <li>・6次産業化とやまの魅力発信事業 等</li> </ul> </li> <li>○石川県                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発・販路開拓、施設・設備整備を支援</li> <li>・いしかわ百万石マルシェ事業(首都圏での販売会) 等</li> </ul> </li> </ul>							

## 6次産業化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本雅和	
事業主体	県、市町、農林漁業者等				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務						
補助率	国 定額・1/2・1/3、県1/2・1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	32,023	23,844			8,179	食料産業・6次産業化交付金(7,461千円) 6次産業化サポート事業(4,302千円) 農山漁村振興交付金(12,081千円)						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		167,258	37,016	131,816	23,879	32,023	・地域食材供給施設(直売施設等)整備の支援(国庫ハード)による増					
2月現計予算額の推移		138,194	26,745	132,803	9,585							
決算額の推移		130,455	22,459	128,752								
前年度までの 主な増減理由	○29年度 加工施設および農家レストランの整備支援(国庫ハード)等による増 ○30年度 加工設備の整備支援(国庫ハード)の件数・規模減による減 ○元年度 加工施設の整備支援(国庫ハード)等による増 ○2年度 加工設備の整備支援(国庫ハード)の採択無し等による減											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	6次産業化による新商品の販売額(億円)	(2.9)	(3.1)	(3.5)	(3.8)	(4.2)	(5.0)	(10.0)				
		実績 2.9	3.3	3.5	3.6							
活動指標	補助件数(県)	(11)	(12)	(8)	(10)	(10)	(10)	(10)				
		実績 10	8	6	6							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
・6次化新商品開発数 25商品(見込み) ・6次化新商品販売額 3.6億円(見込み) ・補助事業件数(県単) ソフト1件 ハード5件(ソフト、ハードとも見込み)				・地域食材供給施設(直売施設等)整備の支援(国庫ハード)による増				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## さかほまれを使った福井オリジナル酒の魅力発信事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等	[ 新ふくいの農業基本計画、第3次ふくいの食育・地産地 ]						
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>「さかほまれ」の地酒は商品販売開始から間もないため、全国的な知名度が低い。 また、酒米生産者からは栽培方法の確立が、酒造場からは醸造技術の確立が求められている。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>福井生まれの酒米「さかほまれ」、酵母、水を使用した福井オリジナル酒の開発を行い、生産者と酒造場が連携し、酒米・酒の品質向上への取組みと県内から県外への段階的PRを行うことにより、福井オリジナル酒のブランド化を進める。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>○販売・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒販店・飲食店向け試飲会の開催 (都市圏)</li> <li>・酒販店・飲食店で的一般消費者向け試飲提供 (都市圏)</li> <li>・販売戦略会議の開催</li> </ul> <p>○酒醸造・酒米生産の品質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・醸造技術交流会の開催</li> <li>・生産者と蔵元による圃場見学会・意見交換会の開催</li> </ul>												
[受益者] 県内酒米生産者、県内酒造場						[想定される受益者数] 600名、30社						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	○石川県 大吟醸用酒米の市場デビューによる地酒のブランド価値向上 ・新たな酒米の愛称・ロゴマークの公募 ・イベント実施による新たな酒米のPR ・酒米生産体制の強化					

## さかほまれを使った福井オリジナル酒の魅力発信事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,016				3,016							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					3,111	3,016	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑誌によるPR経費の削減</li> <li>・新たに、都市圏の酒販店・飲食店において一般消費者向け試飲提供を実施</li> </ul>					
2月現計予算額の推移					2,583							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	さかほまれ使用量 (t) (目標) 実績				(30) 32	(60)	(135)	(300)				
活動指標	さかほまれ使用酒造場数 (社) (目標) 実績				(17) 17	(19)	(21)	(25)				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
酒米の収量が目標以上に確保され、余剰分も酒造組合の協力のもと酒造場へ配分されたことから成果指標、活動指標いずれも達成した。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑誌によるPR経費の削減</li> <li>・新たに、都市圏の酒販店・飲食店において一般消費者向け試飲提供を実施</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 95	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 都市農村交流推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	ふくい農林水産支援センター				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託								経過 年数	7 年		
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画、北陸新幹線開業対策加速化プラン(仮称) ]					
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線の開業や大型交流拠点施設の整備などによる観光での来県者の増加が見込まれるが、農村部では人口減少や高齢化の進展に伴い、受入体制づくりが課題となっている。												
[事業目的]												
「農泊」による交流拡大を図るため、「ふくいエコ・グリーンツーリズム・ネットワーク」と都市農村交流員が核となり、福井県の農泊に関する情報を県内外に発信し、先進事例研修の開催など受入体制の整備に取り組む。												
[事業内容]												
①情報発信の強化 ・都市農村交流員の設置・活動費等												
②受入体制の整備 ・受入農家等に対する研修会、ふくいエコ・グリーンツーリズム・ネットワーク事務局の設置および運営等												
[受益者] エコ・グリーンツーリズム実践者						[想定される受益者数] 52団体						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 農のある生活応援実践事業 (実績) ・業務委託による情報発信、研修会開催、インターンの受入調整 ・農家民宿開業 29軒 (H24~H26)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 農遊促進事業、里山里海湖ビジネス実践力強化事業 (役割分担) 農遊促進事業：農遊コンシェルジュの育成 里山里海湖ビジネス実践力強化事業：里山里海湖ビジネス実践者の支援				
市町との連携状況		ふくいエコ・グリーンツーリズム・ネットワークに各市町が参加しており、情報を共有している				他県の状況		富山県 グリーンツーリズムに関する普及啓発、人材育成、情報収集・提供等をNPO法人へ委託  石川県 グリーンツーリズムに関するパンフレットおよびガイドマップの作成・配布を公益社団法人へ委託				

# 都市農村交流推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	ふくい農林水産支援センター				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	13,788			(繰入) 13,788	0	中山間地域土地改良施設等保全基金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		15,430	15,091	14,807	13,784	13,788	特になし					
2月現計予算額の推移		15,170	14,806	14,807	13,784							
決算額の推移		15,099	14,771	14,712								
前年度までの 主な増減理由		H28：外部人材を活用した里山里海湖ビジネスモデルコースへの指導・助言を実施 H29：前年度の外部講師の指導・助言をもとに職員が対応 H30：エコグリーンツーリズムにかかるパンフレット作成部数の減 R1：農家民宿開業支援件数の減 R2：農家民宿開業支援の廃止およびふくいエコ・グリーンツーリズムにかかるパンフレット作成部数の減										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	農家民宿開業申請件数(～R1)	(目標)	(3)	(3)	(3)	(5)	(5)	(5)				
	農家民宿新規開業件数(R2～)	実績	5	4	0	5						
活動指標	農家等を対象とした受入	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)				
	研修会開催回数	実績	2	2	2	2						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
・都市農村交流員(2名)の設置および里山里海湖体験講座(全20回)による都市農村交流へ参加意識の啓発等								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 中山間集落農業支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本雅和				
事業主体	市町、営農集団等				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	補助														
補助率	1/2、1/3														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画、北陸新幹線開業対策加速化プラン(仮称) ]								
[解決すべき問題・課題]															
平成30年度から米の生産調整が廃止され、生産規模の小さい中山間の農地で個人営農を継続することが厳しい状況となった。このため、個人営農が多い中山間地域の集落合意形成を図り、個人営農から集落単位での営農への転換を進め、中山間地域の活性化を図る必要がある。															
[事業目的]															
集落営農などの集落の自主的な活動を支援し、中山間地域農業の振興を図る。															
[事業内容]															
①集落活動等の活性化支援 ・市町等が集落農業アドバイザーを設置し、集落営農にかかる合意形成や活動計画の作成等を支援 実施主体：市町等 補助率：1/2 ②集落単位の水田営農等を支援 ・小規模な水田農業機械・園芸施設等の生産基盤の整備を支援 実施主体：営農集団等 補助率：1/3															
[受益者] 中山間地域の農業者						[想定される受益者数] 中山間地域の農家 10,521戸									
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 里山里海湖ビジネス推進事業、中山間地域農業総合対策事業 (実績) ・中山間地域の水田を活用した園芸ハウス等の整備や農家レストラン整備などを支援				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況		・各市町に設置される「集落農業アドバイザー」が、集落営農に係る合意形成や活動計画の作成等を支援				他県の状況		岐阜県 ①中山間地域等担い手育成推進事業 中山間地域の集落営農の体制づくり等に向けた地域の合意形成を支援 事業主体：市町村、農業者組織等 補助率：定額(上限200千円) ②中山間地域等担い手育成支援事業 中山間地域における集落営農組織に必要な農業機械施設の整備を支援 事業主体：設立または営農開始後2年以内の集落営農組織 補助率：1/2以内(上限5,000千円)							

## 中山間集落農業支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本雅和	
事業主体	市町、営農集団等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助					事業 区分						
補助率	1/2、1/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	52,564	26,281			26,283	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			97,545	91,949	59,049	52,564	農家レストラン、体験農園、直売所等の整備補助金の廃止					
2月現計予算額の推移			86,914	90,366	59,049							
決算額の推移			80,052	86,738								
前年度までの 主な増減理由	R1：農家レストラン、体験農園、直売所等の整備補助数の減 R2：水田農業機械や園芸ハウス等の整備件数の減、農家民宿等改修補助金の廃止											
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	集落営農実施数	(目標)	(10)	(10)	(10)	(10)	(50)	(50)	50集落/5年			
		実績	15	16	16							
活動指標	集落活動計画作成数	(目標)	(10)	(10)	(10)	(10)	(50)	(50)				
		実績	15	16	16							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
(R2年度見込み) ・集落営農実施数：16集落 ・園芸ハウス等の整備数：3か所 ・農家レストラン等の整備数：5か所				農家レストラン、体験農園、直売所等の整備補助金の廃止				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 6,485	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# ふくいワインカレッジ研修事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			事業 経過 年数					H30 年度			
補助率	—			4 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画 ]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>中山間地域は小区画および急傾斜等の理由により、平地と比べて作業効率が低く労働負担が大きいなど生産条件が不利である。 このような地域においても比較的省力で栽培できるワイン用ブドウや、それらを活用したワイナリー整備を推進し、中山間地域の所得向上を図る。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>県産ワインの生産者を育成し、県産の「ふくいワイン」による中山間地域の振興を図る。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>①ワイナリー開業コース  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワインブドウ栽培研修：研修生自らが専用の圃場を管理する実践的な技術研修 <span style="float: right;">【対象者】ワイナリー開業希望者</span></li> <li>・ ワイン醸造研修：県内のワイナリーで自らのタンクを管理し、実践的な醸造経験を積む研修</li> <li>・ 座学研修：ワインブドウ栽培やワイン醸造の第一人者を講師に招き、栽培・醸造・販売の知識や技術を習得する。</li> </ul> </p> <p>②ワインブドウ栽培コース  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県産ワイン醸造の基盤となる県産ワインブドウの生産普及を図るため、県内の農家等に対して研修会を実施する。 <span style="float: right;">【対象者】県内農家等</span></li> </ul> </p>												
[受益者] ふくいワインカレッジ研修生						[想定される受益者数] 毎年20人程度						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいワイン振興事業 (実績) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 醸造の担い手を育成するための研修プログラムの策定</li> </ul>					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新規就農者支援事業、園芸経営者誘致事業 (役割分担) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修生の誘致や研修修了後の就農支援の実施</li> </ul>					
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブドウ栽培やワイナリー開業希望者に対して、農地や物件等を斡旋</li> </ul>					他県の状況	<p>長野県：「ワイン生産アカデミー」            実施主体 県 研修期間 4か月 (全7回)            受講料 5,000円 募集人数 30名</p> <p>塩尻市：「塩尻ワイン大学」            実施主体 市 研修期間 4年間            受講料 30,000円/年 募集人数 20名</p> <p>山梨県：「やまなし醸造用ブドウ栽培セミナー」            実施主体 県 研修期間 9か月 (全8回)            受講料 無料 募集人数 20名</p>					

# ふくいワインカレッジ研修事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		R4 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			H30 年度 経過年数 4 年
補助率	—								□ その他			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,589	5,019		諸収入 570	0	中山間地農業ルネッサンス推進事業交付金 (諸収入) 研修受講料						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	H29年度	H30年度	R元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		11,082	8,675	5,911	5,589	栽培機械導入完了による減						
2月現計予算額の推移		7,305	8,675	5,911								
決算額の推移		5,737	8,331									
前年度までの 主な増減理由	醸造機器導入の完了による減											
[成果指標等の推移]												
区 分	H29年度	H30年度	R元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	新規県産ワイン醸造本数 (目標)		(800)	(800)	(800)	(55,000)	(55,000)	白山ワイナリーへの委託醸造+研修生が開業したワイナリーで製造する本数				
	実績		188	559								
活動指標	ワインカレッジ研修受講者 (目標)	(20)	(30)	(30)	(30)	—	—	ワイナリー開業コース20名(1年生10名、2年生10名)+ワインブドウ栽培コース10名				
	実績	17	16	21								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
(令和2年度末見込み) ・ワイナリー開業コースおよびワインブドウ栽培コースにおいて、 21名が研修を受講				栽培機械導入完了による減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 322	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 中山間営農継続支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	農業サポートセンター等				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R元 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2、定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 2 成長を創る(産業力) 〕			関連する県の計画等		〔 新ふくいの農業基本計画 〕					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>傾斜が急で生産条件が不利な中山間地域においては、草刈・防除などの作業が重労働となり、営農の継続に支障をきたしている。除草ロボや防除ドローン等の導入支援や、受け手と出し手が農作業を分担して助け合う体制の構築により、農地を安全に保全し、営農の継続を図る必要がある。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>傾斜が急で生産条件が不利な中山間地域において、除草ロボや防除ドローン等の導入を支援するとともに、農作業を分担して助け合う体制を構築し、営農の継続を図る。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>①中山間地域における草刈および防除作業の省力化支援            ・除草ロボ(ラジコン式草刈機)、ヤギを活用した除草体制、防除ドローンの導入支援            補助対象者：農業者等            補助率：1/2</p> <p>②市町の中山間営農継続プランに基づく農地保全の推進            (1)農作業支援活動に対する助成            補助対象者：農作業受託者            補助率：定額            (2)農業サポートセンター活動費            補助対象者：農業サポートセンター            補助率：1/2</p>												
[受益者] 中山間地域の農業者						[想定される受益者数] 中山間地域の農家 10千戸						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 いきいき地域営農サポート事業 (実績)  中山間地域における農作業支援を実施					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町が作成する中山間営農継続プランに基づき、除草ロボや防除ドローンの導入を支援し、市町農業サポートセンターが受託農家と委託希望者のマッチング等を実施する。					他県の状況	近県に類似の事業なし H27耕作放棄地面積率 新潟県：8.3% 富山県：8.3% 石川県：23.1%					

## 中山間営農継続支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	農業サポートセンター等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R元 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R3 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	1/2、定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	42,028					42,028						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				21,331	46,742	42,028	要望量の減					
2月現計予算額の推移				21,331	46,742							
決算額の推移				20,562								
前年度までの主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除草ロボ（ラジコン式草刈機）導入地区の増</li> <li>・防除ドローン導入地区の増</li> <li>・農作業支援活動に対する助成の増</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	耕作放棄地面積率の増加防止（%）	(目標)		(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	耕作放棄地面積率5.3%（耕作放棄地面積1,974ha／総農家の経営耕地37,245ha）H27センサス			
活動指標	農作業省力化機器の導入	(目標)		(6)	(11)	(8)	(35)	(35)	除草ロボ：15台 防除ドローン：20台			
		実績		9	14							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
R2実績（見込み）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・除草ロボ（ラジコン式草刈機）の導入：3地区</li> <li>・ヤギを活用した除草体制導入：1地区</li> <li>・防除ドローンの導入：11地区</li> </ul>				要望量の減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 4,714	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 里山里海湖ビジネス実践力強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R元 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R3 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画、北陸新幹線開業対策加速化プラン (仮称) ]								
[解決すべき問題・課題]															
農山漁村では、食材等の地域資源や人々の暮らし方など魅力的な資源が存在するが十分な活用がされていない。そこで、そのような魅力ある資源を活用した農家民宿や農家レストランによる農家所得の向上のため、実践者掘起しや実践者の抱える課題解決の支援が必要である。															
[事業目的]															
里山里海湖ビジネス研修を強化し、ビジネス実践者の掘り起こしを行うとともに、農村資源を活用した地域づくりにおける実践者の課題解決を支援することで農家所得の向上を図る。															
[事業内容]															
<p>○里山里海湖ビジネス実践者の掘り起し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農家民宿コース：農家民宿開業や、宿泊客の獲得に向けた研修の実施 <span style="float: right;">【対象者】 開業希望者</span></li> <li>・ 農家レストランコース：農家レストランの開業や、農家レストランならではの料理の提供法習得に向けた研修の実施 <span style="float: right;">【対象者】 開業希望者</span></li> <li>・ 里山資源活用サロンコース：地域の農家民宿や農家レストラン等における体験交流の軸となる人材を育成する研修の実施 <span style="float: right;">【対象者】 農家民宿等の協力希望者</span></li> </ul> <p>○里山里海湖ビジネス実践者の課題解決を支援</p> <p>課題解決コース：ビジネス実践者の課題解決に向けて、専門家の派遣を行う <span style="float: right;">【対象者】 ビジネス実践者</span></p>															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな農業ビジネス創出事業 (実績) 里山里海湖ビジネスを担う人材育成のための研修を実施し、のべ191人が受講し、うち16人が新規開業した。					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 農遊促進事業、都市農村交流推進事業 (役割分担) ・ 農遊促進事業：農遊コンシェルジュの育成 ・ 都市農村交流推進事業：里山里海湖ビジネスの魅力発信等による新規実践者の発掘								
市町との連携状況	ビジネス実践者の課題解決方針を市町に報告し、市町の地域づくり方針とのすり合わせを実施					他県の状況	[石川県] ○滞在メニュープロデュース講座 農家民宿やレストラン等の経営者、農林水産業者、料理人を対象に、里山里海の魅力を伝える滞在メニューを作る人材を育成								

## 里山里海湖ビジネス実践力強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		R元 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			
補助率	—								□ その他			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,738	2,500		(諸) 350	4,888	農山漁村振興交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			11,650	12,519	7,738	農家レストラン研修内容の見直しによる減						
2月現計予算額の推移			8,281	7,965								
決算額の推移			6,117									
前年度までの 主な増減理由	R2：里山資源活用サロンコースの新設											
[成果指標等の推移]												
区分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	研修受講後の売上増加者数 (目標)		(0)	(30)	(30)	(85)	(85)	ビジネス研修修了者のうち、翌年度以降に里山里海湖ビジネスの売り上げが増加した人数				
活動指標	研修受講者数 (目標)		(50)	(90)	(85)	(225)	(225)	R元：農家レストランコース10名、農家民宿コース10名、課題解決コース30名 R2～：農家レストランコース10名、農家民宿コース10名、 課題解決コース30名(R3：25名)、里山サロンコース40名				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
(R2実績見込み) 農家レストランコース11名 農家民宿コース13名 課題解決コース26名 里山サロンコース89名				農家レストラン研修内容の見直しによる減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 4,781	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 農遊促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本雅和	
事業主体	県、農林漁業者等				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	県1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画、第3次ふくいの食育・地産地消推進計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線福井・敦賀開業を契機として交流人口の拡大が見込まれるが、県内農村部ではまだ人を呼び込むための基盤整備や情報発信が弱い。												
[事業目的]												
県内農村での交流人口の増加を図るため、大型直売所などの拠点施設を中心に観光農園・農家レストラン・農家民宿等の農村を体感するコンテンツをつなげ農村を満喫する「農遊地域」づくりを進める。												
[事業内容]												
1 農遊コンシェルジュの育成 ○農産物直売所等のスタッフを、旅行者へ農村の情報を魅力的に伝えられる農遊コンシェルジュに育成  2 農遊スタンプラリーの実施 ○観光地から直売所等へ観光客の誘導を図るため、モバイルスタンプラリーを実施  3 イベント実施や新商品開発を支援 ○大学生や農遊コンシェルジュが中心となり、農遊の目玉となるようなイベントの実施や新商品開発を支援（実施主体：農産物直売所等、補助率1/3）												
[受益者] 直売所、観光農園等						[想定される受益者数] 200事業者						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 都市農村交流推進事業 (役割分担) 都市農村交流員が農遊にかかる情報発信を担う。					
市町との連携状況	【農遊コンシェルジュの育成】 コンシェルジュ候補の選定、研修会への参加誘導 【農遊スタンプラリーの実施】 スタンプ設置先候補の選定、調整 【イベント実施や新商品開発を支援】 事業を活用した集客イベントの実施					他県の状況	<input type="checkbox"/> 新潟県 ・複数の農業者による農家民宿の開業を支援 ・農林漁業体験宿泊施設等の整備 等 <input type="checkbox"/> 富山県 ・県が事業主体となり田舎暮らし体験メニューを実施 ・「帰農塾」 等 <input type="checkbox"/> 石川県 ・地域資源を活用したイベント実施や滞在メニュー開発を支援 ・里山振興ファンド 等					

## 農遊促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本雅和			
事業主体	県、農林漁業者等				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	県1/3					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	繰入金	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	13,751	4,176		繰入金 5,398		4,177	地方創生推進交付金 中山間地域土地改良施設等保全基金							
[予算額の推移等]													(単位：千円)	
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						13,751								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	交流人口の拡大(万人) (目標) 実績					(150)	(170)	(170)						
活動指標	補助件数(県) (目標) 実績					(6)	(6)	(6)						
[事業の評価]														
前年度の実績					実績を踏まえた令和3年度の変更点					事業評価				
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 農山漁村交流人口拡大施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和								
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度							
事業実施方法	補助																		
補助率	県1/10																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]					関連する県の計画等		[ 新農業基本計画 ]											
[解決すべき問題・課題]																			
・ 高速交通網の整備が進む中、誘客数を増やすための核となる施設が必要である。																			
[事業目的]																			
交流拠点施設（道の駅等）を軸として、高速交通体系整備を機に増加が見込まれる観光客を農山漁村に呼び込み、回遊するための施設整備を支援することで、園芸の拡大や交流人口の拡大につなげる。																			
[事業内容]																			
○道の駅に隣接した大規模園芸ハウス（34aイチゴ観光農園）の整備に対する支援 実施主体 美浜町 補助率 県1／10																			
[受益者]						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スマート施設園芸拡大推進事業 (役割分担) 大規模な園芸ハウスを整備												
市町との連携状況	新規就農する人材を育成し、美浜町全体の園芸振興の拡大を行う。					他県の状況													

## 農山漁村交流人口拡大施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和			
事業主体	市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助													
補助率	県1/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	12,500				12,500									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				83,600	12,500	事業費の減による減								
2月現計予算額の推移				10,000										
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観光農園入込客数（万人）	(目標)		(0)	(0.5)	(2)	(2)	令和2～3年度に観光農園を整備し、令和3年度12月より営業開始予定						
活動指標		(目標)												
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
整備にかかる用地の取得・造成及びイチゴ生産用ハウスの整備				事業費の減による減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 71,100			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 次世代へつなぐ伝統やさい支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和			
事業主体	営農集団等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	補助										事業 開始 年度			R3 年度
補助率	1/2										経過年数			1 年
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画 ]							
[解決すべき問題・課題]  伝統やさいの販売額は増加しているものの、近年は伸び悩んでいる状況である。今後も生産活動を維持していくため、販売額の更なる増加が必要である。														
[事業目的]  本県で100年以上前から栽培される伝統やさいの県内流通を促進し、販売額を増加させるため、生産者団体の活動に対する支援を行う。														
[事業内容] 県内での消費拡大のための販売活動等への支援  実施主体：営農集団等 補助率：1/2 補助内容：新たな栽培方法の実践、新たな貯蔵方法の実践														
[受益者] 伝統野菜生産者						[想定される受益者数] 157名(17品目生産者)								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井百歳やさい応援事業 (実績)  平成29年から令和2年で販売額を6,200千円増					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 伝統地場農産物等原種供給事業 (役割分担)  伝統地場農産物等原種供給事業：伝統野菜の種子の保存・供給							
市町との連携状況	・小中学校の児童生徒を対象に「百歳やさい」を使用した学校給食を提供し、食育の題材として活用 ・市町のイベント等で普及活動を実施					他県の状況								

## 次世代へつなぐ伝統やさい支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和			
事業主体	営農集団等				事務 区分	■ 自治事務 ■ 補助金 □ 法定受託事務		事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											経過年数		
補助率	1/2											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,479					1,479								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						1,479								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	販売額の増加(百万円) (目標) 実績					(44.1)	(47.0)	(47.0)	対象17品目の販売額合計を令和2年度から令和5年度までに10%アップさせる 令和2年度販売額：42,700千円×1.1≒47,000千円(増加額：4,300千円)					
活動指標	支援団体数 (目標) 実績					(17)	(17)	(17)				伝統やさいを栽培する営農集団等に対する支援		
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 鳥獣害のない里づくり推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本雅和	
事業主体	県、市町、各市町鳥獣害対策協議会、県猟友会等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		■ 実行予算 ■ 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助等											
補助率	国2/3・1/2・5.5/10・定額、県1/2・1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 人口減少や少子高齢化の進展、人による農地や山林等の継続的な管理の未実施等により、鳥獣の生息域が人の生息域まで拡大し農作物被害が拡大している。鳥獣害対策は鳥獣を農地に侵入させない柵整備等による被害防除、生息数が増加した有害鳥獣を捕獲する個体数調整、集落ぐるみにより鳥獣害対策を実施する体制強化の3本柱により、効果的な対策を継続的に実施していくことが必要である。												
[事業目的] 有害鳥獣による被害を軽減するため、集落を獣の餌場としない集落ぐるみの被害対策を基本として、金網柵やネット柵等の整備を支援する被害防除を推進するとともに、市町による有害鳥獣捕獲の経費支援や県が事業主体となり鳥獣の捕獲を行う指定管理鳥獣捕獲等事業などの個体数調整、対策を指導できる専門人材研修や集落リーダー育成支援など、総合的な鳥獣害対策を実施し、誰もが安心して農業を営むことのできる里づくりを推進する。												
[事業内容] ①指導者育成の強化、現地指導の強化、捕獲技術研修会開催、有害鳥獣分布等の情報収集・分析 ②電気柵整備、ネット柵整備(事業実施主体:各市町鳥獣害対策協議会)、捕獲檻整備(事業実施主体:市町) ③捕獲経費の助成(実施主体:市町) ④鳥獣被害防止総合対策交付金(実施主体:各市町鳥獣害対策協議会等) ⑤電気柵遠隔監視通報システムの運営 ⑥侵入防止柵(金網柵、ネット柵、電気柵)の更新に対する支援 ⑦サル対策(悪質なサルの選択的捕獲活動)への支援(実施主体:市町等) ⑧サル被害・出没情報共有システムの運営 ⑨小規模金網柵の整備支援【拡大】獣害対策グレーチング整備への支援 ⑩獣肉の利活用の推進 ⑪アドバイザーの育成研修を実施 ⑫指定管理鳥獣捕獲等事業の推進(イノシシ、シカ) ⑬集落間の合意形成による鳥獣害対策実践への支援												
[受益者] 農業者等						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 農作物鳥獣害防止対策推進事業 (実績) ・電気柵の整備支援 ・有害獣捕獲の経費支援 ・捕獲檻の整備支援 ・捕獲者の確保、育成					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・各市町と連携して、鳥獣被害発生集落に対する現地指導等を行い、集落ぐるみの対策を推進					他県の状況	(滋賀県) ・鳥獣被害防止総合対策交付金事業 ・指定管理鳥獣捕獲等事業(ニホンジカ) (岐阜県) ・鳥獣被害防止総合対策交付金事業 ・指定管理鳥獣捕獲等事業(イノシシ、ニホンジカ)					

## 鳥獣害のない里づくり推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本雅和					
事業主体	県、市町、各市町鳥獣害対策協議会、県猟友会等				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営、補助等					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	国2/3・1/2・5.5/10・定額、県1/2・1/3															
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	598,639	458,449	0	(繰入)	7,281	132,909		鳥獣被害防止総合対策交付金(355,004千円)、電源立地地域対策交付金(77,052千円)、指定管理鳥獣捕獲等事業交付金(26,393千円)、中山間地域土地改良施設等保全基金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		537,901	534,509	526,733	588,948	598,639	金網柵等の設置支援に対する要望量の増									
2月現計予算額の推移		363,044	318,713	399,236	461,446											
決算額の推移		332,578	278,043	314,273												
前年度までの 主な増減理由	R2：イノシシ捕獲単価の増額、指定管理鳥獣捕獲等事業の実施、集落間の合意形成による鳥獣害対策実践事業の実施															
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	総被害面積 (ha)	(目標) (180)	(150)	(144)	(135)	(132)	(126)	(120)	目標とする総被害面積 (R5年度) 120ha 150ha (H30年度目標) - 120ha (R5年度目標) = 30ha → 6ha/年の減少							
		実績 148	146	139												
活動指標	有害鳥獣捕獲頭数	(目標) (20,000)	(21,000)	(21,000)	(23,300)	(20,720)	(20,720)	(20,720)	第二種特定鳥獣管理計画および過去5年間の実績を踏まえ目標を設定							
		実績 21,177	17,923	22,087												
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
(R2年度見込み) ・金網柵の整備支援 : 53km ・電気柵の整備支援 : 8km ・ネット柵の整備支援 : 6km 計 67km				金網柵等の設置支援に対する要望量の増				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								□ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

## 若狭牛販売促進支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	福井県経済農業協同組合連合会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 2 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]				関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により若狭牛の枝肉価格はR2.4月に最下落(前年同比27%減)し、その後も乱高下している。若狭牛を安定出荷するためには、年間を通しての枝肉相場の安定が重要である。そのためには、季節を問わない若狭牛の消費が必要である。												
[事業目的]												
需要が低下する時期に消費者向けにPR、フェア等を実施することで枝肉価格の安定、飲食機会を促進し若狭牛振興を図る。												
[事業内容]												
生産者団体が実施する若狭牛PRへの支援(一般消費者へ向けたPRの実施) (1) インターネットを活用したPR(場所を選ばないPR) 特設サイトを開設し、広く若狭牛をPR (2) 食のイベントにおけるPR(食に関心のある消費者を対象としたPR) (3) 量販店内の食肉専門店におけるPR(販売と直結したPR) 等 ・R3事業費 3,000千円 ・補助率 県1/2 (補助上限: 1,500千円)												
[受益者] 若狭牛生産者、流通販売者						[想定される受益者数] 若狭牛生産者43戸、若狭牛取扱店舗(精肉店、飲食店)29店舗						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 オールブランド畜産物PR事業 (実績) 若狭牛提供店舗 150店舗 福地鶏提供店舗 71店舗				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		・石川県 特色ある県産農林水産物の生産・販売体制強化とブランド化 能登牛 予算額3,800千円 協議会への補助 イベントへの参加、首都圏バイヤーの招致 ・富山県 無し				

## 若狭牛販売促進支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	福井県経済農業協同組合連合会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,500					1,500						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						1,500						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	若狭牛生産額(億円) (目標) 実績					(7.5)	(8.0)	(10.0)	若狭牛出荷頭数660頭×115万円/頭≒7.5億円			
活動指標	PR、フェア等件数 (目標) 実績					(3)	(3)	(3)	需要低下の時期(梅雨、お盆明け、年明け)			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 畜産経営基盤強化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体		畜産農家等			事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法		補助										
補助率		1/3、2/3										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 2 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ ]			関連する県の計画等		[ 新ふくいの農業基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]												
施設の老朽化による生産力低下、過重労働による後継者の不足、畜産農家の高齢化による廃業によって、農家戸数は平成15年の164戸からR2年度の78戸まで減少。老朽化した施設の修繕や規模拡大の伴う増改築、省力過機械の導入等への支援により後継者となる若者に魅力ある畜産経営を実現し、営農の拡大・継続を図る。												
[事業目的]												
経営規模拡大のために行う畜舎の増改築や、後継者への円滑な経営継承のための省力機械の導入等の意欲的な取組みを支援し、県内畜産農家の生産拡大を目指す。												
[事業内容]												
1. ふくいポーク生産のための施設整備を支援 ・補助率：国1/2、県1/6 (計2/3)  2. 経営規模拡大や6次化に対する支援 ・R3事業費：30,000千円×3経営体 ・補助率：県1/3 (補助上限 12,000千円)  3. 労働環境改善に繋がる省力機械導入等を支援 ・R3事業費：2,250千円×4経営体 ・補助率：県1/3 (補助上限 4,000千円)												
[受益者] <b>畜産農家等</b>						[想定される受益者数]			県内畜産農家78戸			
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    若狭牛・高能力乳牛導入支援事業 (実績)  TPPIに対応するため、収益性の低い畜種から若狭牛や高能力乳牛へと畜種の転換を推進し、農家の生産額向上が図られた。				関連事業の有無・役割分担			<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)			
市町との連携状況		補助事業者は原則市町とし、事業の要望調査も市町と連携して行っている。				他県の状況			<input type="checkbox"/> 強い畜産構造改革支援事業 (岐阜県) 全畜種対象 補助率：新規就農支援型 1/3、担い手育成支援型 1/4 ・担い手確保、生産基盤強化を推進する取組みに対し、必要となる生産基盤整備に要する経費を補助。 <input type="checkbox"/> 乳用後継牛育成支援事業 (富山県) 対象：酪農 補助率：1/3 ・後継雌子牛の哺育、育成に必要な施設等の整備に要する経費を補助。 <input type="checkbox"/> 能登牛ブランド力強化事業 (石川県) 対象：能登牛 補助率：1/3 ・能登牛の増産を図るための簡易牛舎等の設置に対する補助			

## 畜産経営基盤強化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	農林水産部	課名	中山間農業・畜産課	課長名	杉本 雅和	
事業主体	畜産農家等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3、2/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	33,000				33,000							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				39,600	37,000	33,000	要望量の減					
2月現計予算額の推移				32,000	37,000							
決算額の推移				28,306								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県内畜産生産額 (億円) (目標) 実績	47	46	(47)	(48)	(50)	(52)	(52)	5年度 5億円増 (H29 47億円 ⇒ R5 52億円)			
活動指標	経営拡大のための整備 (事業活用) (目標) 実績			(3) 3	(4) 4	(3)	(3)	(3)				
	老朽化した施設機械の再整備 (事業活用) (目標) 実績			(4) 4	(4) 4	(4)	(4)	(4)				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
(R2年度見込み) ・経営の拡大 4件 ・経営の近代化 4件				要望量の減 (経営拡大のための整備)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 4,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		